

ののほな

野の花館だより
2009/春号 / No.51

世代を超えた交流は次代を担う青少年の健全育成に必要な視点であり、地域が求めている大きな課題ともなっています。今年度は、「自然と歴史観豊かな「野の花館」を地元の高齢者、子供達の集まりやすい場所として開放し、コミュニティの楽しさを体験する。伝統的な文化や古くから伝わる習慣などが忘れられようとしている昨今、郷土の料理づくり体験や文化体験を介して子供達と高齢者との交流を深めることで地域の子育てを支援すると共に古き良き地域文化の伝承により生活圏の一体感を図るものとする」…として5つのイベントと6つの講座を取り組みました。

特に食の問題が取りざたされる昨今、子供達と共に楽しい食事を毎回取り入れたのは好評でした。この地域で人が集まる時に作られるもの・冷汁や団子汁 地産地消を話題にしながら大勢での食事の楽しさを味わいました。

さて、今年も「春第15回野の花館まつり」が5月2日(土)に決まりました。連休の真ん中ですが遊びにおいで下さい！ 春を食べる会が好評です。



第15回野の花館まつり

野の花館・子どものための舞台公演・2009・春
2009年5月2日(土) 10時～15時

新緑の季節！今年の舞台は…？

舞台が楽しい！人形劇・読み聞かせ・唄など
(春を食べる会)おすし・天ぷら・白あえなど



こんな行事がありました!

野の花館“ふるさと”ふれあい子育て支援事業

第5回講座・竹細工教室 ・お正月飾り ・講師：金子信吾さん(自然案内人)

12月13日(土)(参加・大人8名、子ども14名)

お正月飾り

正月と盆は日本の催事習俗の中で、最も重んじられる行事として受けつがれてきた。古くは盆も正月も春秋二度の祖霊を迎え、送る神事だったが、今では「正月」は祖霊や歳神を迎える神祭り、「盆」は亡くなった先祖、つまり仏を迎える仏事となっている。

陰陽五行では1月は「寅月」。寅・卯・辰の3ヶ月は春、五気(木火土金水)のうち木気の支配する季節。寅月は春の初め、木気の始まりです。

五行配当では木気、春の色は「青」。(青春・白秋・朱夏、玄冬は陰陽五行説による) 古来、木気と春と青色を象徴する常緑樹を山から伐って来て、家の内外を飾り、それによって、新春、つまり正月を迎えた。門松といっても、松に限ったことはなく、冬も青々とした葉をつけるものなら何でもよかった。

門松は、門だけに限ったことはなく、家の内の大黒柱、神棚、カマドなどにも飾られたが、今では一般家庭にはこんなものはほとんどない。

門松は正月の神の「依代」、注連飾りは「禍神」が家に入らないようにする

呪い、鏡餅は昔の青銅鏡に似せて、円く平らにつくあった歳神にお供えする餅、と考えられている。

家の中から神棚も大黒柱も床の間もなくなった。

印刷した紙の門松ではない、今の住居にあう正月飾りをしたいものです。



第 6 回講座・宮崎の民話・語りと絵本教室 講師・隈元三枝子さん

…昔話を聞いてみよう・・・1月10日 10時～13時(大人8人、子ども12人)

・むかし話ってなあに

むかし話は、耳で聞くおはなし。「むかしむかし、あるところに」で始まるこれらの話は、時代や時間が不明確だということと、「これからおとぎ話＝ファンタジーの世界が始まるよ」という挨拶なのです。また「おじいさん・おばあさん」という氏名も何オカも分からない不特定人物を主人公にしていることが多いのも特長のひとつです。これらの話は昔から農業・狩猟人々が、夕刻いろいろ端やストーブ：火の囲りで子ども達に語り伝えられ、伝承された文学なのです。いろいろな国の口伝、日本各地の話の中に似たようなものが数多くあり、人間の持つ共通思考、情念が見られ、とても面白いです。

・今回は野の花館のいろいろを囲んで

火の囲りには、暖かい空気が、心の奥まで包みこむものがありました。子ども達も大人達も、おとぎの国、むかし話の世界にいざなわれて旅をして来、フーと元の世界に帰って来た時は、皆の顔に、なんとも言えない安心感が宿っていたようでした。

お話 ・見るなのくら・・・日本の昔話より
 ・七羽のカラス・・・グリム昔話より

・むかし話と絵本

むかし話が絵本になっているものもたくさんあります。そこで、一つの昔話が、編者と画家によって違うということと比較して見、いろんな描き方があることを知りました。また、子ども達に絵本を選ぶ時は、できたら原作に忠実で、絵をみてお話がわかるようなものを選ぶ。また、何冊か今日のように比較してから（それは図書館を利用したらいい）選ぶことを進めました。

一つの話でも違うことに出席された方もびっくり。楽しいひとときでした。どうぞ、お子さんに“おはなし”どんなのでもいいから（自己流・自作・多いに良し）お母さんの「声」で話してやって下さい。大切な宝物になりますよ。

語りと絵本に参加して

田中里美

昔話というと、私の記憶の中では、TVで日本むかし話を、怖いなあと思いつつ見たり、絵本で見た記憶しかなく、今回の様な語りで聞くのは、初めての気がして、すごく想像しながら楽しく聞いていました。

絵がないのに、一才九ヶ月の息子もじっと聞いていました。

聞いた事がある話なのですが、ねむり姫の針でさされる所はすごく痛そうに、七羽のカラスのカラスが人間に変る所は、パッと変る様な絵が頭に浮かんで、語りってすごくいいなあと思いました。ぜひ子供の成長と共に、語りの時間も作っていきなさいと思います。宮崎の民話と一緒に私の出身地の秋田の民話、主人の出身地の東京の民話と一緒に語り、時には“田中家”の民話も作れたら、とってもいいだろうなあと思いました。ありがとうございました。

- 野の花館 “ふるさと” ふれあい子育て支援事業 -

子どものための舞台公演 09 アットホ - ムで楽しい人形劇場

人形劇団 やじろべえ (福岡) 2月1日(日) AM 11:00~12:00

人形劇「おまえうまそうだな」

パネルシアタ - 「たまごのなかからなあに」大型仕掛け絵本「ふるやのもり」



野の花館公演を終えて

2009年2月1日(日)に野の花館で私たち人形劇団やじろべえが公演をさせていただきました。ありがとうございました。

この場所で公演をさせて頂くのは初めてで、ちょっとワクワクする感じでスタートしました。野の花館は萱葺^{かやぶ}でできていて、今回持ってきた作品も藁葺^{わらぶ}き屋根の雨漏りを題材にした「大型仕掛け絵本 ふるやのもり」で、雨漏^{あまも}が題材になっていました。

現代の子どもたちは“雨漏り”自体がなかなか理解できません。

普段の公演では子どもたちは、話しの内容がピンとこないままストーリーが進んでいくことが多かったのですが、今回はその場の雰囲気もぴったりで、子どもたちも“野の花館”の建物とオーバーラップさせて観ていたようで、ひじょうにやりやすく公演をさせていただきました。

大人の観客の方々も始終ニコニコ顔で、大笑いをして喜んでいただいたようで、なりよりでした。人形劇の「おまえうまそうだな」のラストシーンでは会場もシンと静まり返り、軽くすすり泣く声も聞こえていました。

終演後あるお母さんに「うちの子は今まで、こういうものを見せてもじっとしていられなかったんですけど、最後まで食い入るようにお芝居を見ていました。ラストシーンでは泣いていたんですよ。あんなうちの子を見たのは初めてでした。」と言われて、こっちも有難く受け止めました。

公演を終えて感じたのは、「観客の方々が観ることに慣れていらっしゃるな。素直に楽しんでいる。」と感じました。たぶんこの場所でずーと観劇やコンサート、イベントを続けてこられた賜物だと思います。(コンサートのあとのだんご汁の集いなどもよかったですね。)これからもここでの人間らしいコミュニティーの場を続けていっていただくことを切に願いますし、我々がここで公演したことによって、少しでも活動のお役に立てたのなら嬉しいです。

また楽しい作品を持ってきますので、よろしく願います。

人形劇団 やじろべえ 代表 やまもと ちよび



感想

- ・おもしろかった。(女性)
- ・見てるとき、人形もおもしろかった。(4才)
- ・おもしろかった。またきます。(5才、8才 女の子)
- ・すごく楽しかったです。手作りのアットホームな雰囲気素敵でした。野の花館もとてもいいところですね！また来ます。(35才女性)
- ・おもしろかったです。(7才 男の子)
- ・子供がとても楽しんでよかったです。(女性)
- ・「おまえうまそうだな」の人形がかわいかったし、おもしろかったです。(10才 女の子)
- ・かいじゅうの人形がかわいかったです。少人数でも、工夫したら何でもできるんだなあと感じました。楽しかったです。(43才女性)
- ・おもしろかったです。
- ・笑いありでとても楽しかったです。子供が大きくなってくるとなかなか人形劇をみる機会が減ってしまうと思うとさみしいですが……。でも、いろんな機会に足を運びたいと思います。(女性)
- ・“おまえうまそうだな”の絵本がどんな人形劇になるか、楽しみにきました。パネルシアターも仕掛け絵本もとても楽しく、子どもと一緒に笑いっぱなしでした。またぜひ来させて下さい。(女性)

ミニコンサート 番外編 VOL2 12月14日(日)14:00~

~ことばを彩る音たち~ 自主公演

朗読に木内里美さんを迎え、素敵なコンサートでした。

プログラム

オーベルマンの谷……リスト

グノ-「ファウスト」による華麗な幻想曲 OP.20

… ヴィエニャフスキ-

前奏曲より「帆」「アナカプリの丘」…ドビュッシ-

他



第18回「ドイツ・オーストリア」2月22日(日)15:00~16:00

今回はモーツァルト、ベートーヴェンなど数々の世界的な巨匠を生み出したドイツ、オーストリアからの音楽…ロマンスへ長調、ヴァイオリンソナタ、ハンガリ-舞曲などなど

感想

- ・ 稲田さんの演奏を聴くのは2回目ですが本当に素晴らしい演奏でした。2/27も楽しみにしています。 アッチャン男性・65歳。
- ・ 目の前でのコンサート感激しました。またお願いします。 J・I 女性
- ・ レチタティ-ヴォとスケルツオカプリ-スは曲がとても激しくて、糸が切れてたのが印象的でした。ハンガリ-舞曲の第17番は最初はさみしい感じで激しくなったりしてこれも印象的でした。 ザキラ 男性 9歳
- ・ 素晴らしい音色大感謝です。生演奏でありがとうございました。
- ・ 未就学児同伴で本格的な演奏を毎月のように聴くことができるなんてとても幸せだと思います。子供が飽きても(すみません!!)後ろで遊ばせてもらえるので気が楽でした。自分たちがうるさいのにこういうことを言うのは心苦しいのですがビニル袋のカシャカシャと携帯の音は事前に注意が必要かなと思いました。 子育て中ママ 女性・37歳
- ・ 今日素敵な時間をありがとうございました。ヴァイオリンソナタ、なんだか涙が出そうでした。トロイメライを聴いていると昔の頃を思い出します。父がくれたカセットのピアノ曲集に入っていて、何回も何回もきいたものです。もうちょっと曲が終わった後、拍手までの時間に余韻に浸っていられたらナア(長かったら)いいのになあと思いました。またきかせて下さい。楽しみにしています。 M, I / 女性・37歳

育児だより

* かんきつ姉弟 *

金丸 智子

2月のどろんこ保育園は水ぼうそうとインフルエンザの嵐が吹き荒れた。一番登園児の少なかった日は6名。その勢いは親にまでおよび、我が家も旦那が寝込むハメになった。でも、その原因というか、火種をまいたのは、実はうちの子だったりする。冬休み中にどこからかもらった子がいて、その水ぼうそうをわざわざうつしてもらいに行ったのだ、私は！

遊びに行った日からキッカリ2週間目、朔に発疹。幸い軽く、熱は出らず、収まった。それからじわじわと感染し、平行してインフルエンザも発生。みんなひととおりかかった。恐るべし、病気の力！よく食べるちいも朔も9度6分位の熱が出たし、なんか流行にのったねえ～って感じ。少しずつ元気を取り戻し、やっと通常の日々に戻れた。それにしても母は元気。うつつた旦那にブーブ-言うとお前は猫2匹と寝るからカバ-されてんだ」だって。確かに私の首や肩を枕に、2匹が眠っていたよなあ。失礼しました。

余談ですが・・・

4月から1年、中学と保育園に分かれるうちの子ら。小学生のいない、この安息感ってなんともいえないもんだ。

少しは気を抜けるかも、と思っている。

でも、受験生の親に進化するんだよねえ。

あはははは……。

* 伊藤家の場合 *

伊藤美穂子

夏勢や友樹にとって、野の花館は楽しい場所だ。子供のための行事で行ったときは、二人ともすぐに友達をつくり、親のところにはよりつかない。さびしいけれど素晴らしい。誰もいない野の花館に父親の用事で行っても、「つまらーん」

と言いつつも二人とも楽しそう。いっつもなら叱られるようなあそびをもくもくとしている。長い竹の中心を持ってその場でぐるぐるまわったり、大八車にあがってぴょんぴょんとびはねたり。何となく、私も一緒にやっつてしまいたいそうになるのをぐっと理性で押さえる。私も大人になった。(そんなことはどうでもいい。)

今年も年あけ早々に梅が咲いた。もうすぐ白いたんぽぽも、ピンクのれんげもきれいな姿を見せてくれるだろう。これから一年間、またお世話になります。



事務局日誌より

12/13 (土)	10:00~13:00	竹細工(お正月飾り)教室・・・21名
12/14 (日)	16:00~17:30	ミールミニコンサ-ト番外編2・・・27名
	18:00~20:00	12月定例会
09/1/8 (木)	15:30~17:00	高鍋町子育て支援サポ-トネットワーク会議(於町役場会議室)
1/10 (土)	14:00~16:00	講座6(宮崎の民話・語りと絵本)(大人8名、子ども12名)
	19:00~20:00	1月定例会
1/25 (日)	10:00~12:00	高鍋町地域いきいき読書まつりに参加。 (岡田心平、稲田由香里)
2/1 (日)	9:00~14:00	子どものための舞台公演 09 人形劇(おまえうまそう だな)・・・やじろべえ公演・(おとな35名、子ども37名参加)
2/22 (日)	14:00~15:00	第18回ミールミニコンサ-ト (ドイツ・オ-ストリア)・・・(大人27名、子ども7名参加)
	15:30~16:30	2月定例会



お正月飾りづくり



昔話教室



人形劇を終わって

野の花館へのご支援感謝します！

2008年度分会費、寄附金をよせてくださったみなさまです。

(08・12・01～09・2・28 受け入れの方々)[順不同、敬称は省略させていただきました]

稲田竜斗、稲田由香里、木内里美、黒木淑子、岸本桂子、井戸川貞子、村越香代子、
小嶋カツ、清水妙子、古屋恵子、間妙子、日野原義文、隈元三枝子、永野寛、永野欣子、
どろんこ保育園、金丸智子、去川祥子、杉谷洋子、大倉野ゆみ子、井上志保、峰瑞枝、
野村健一・小由留、岩見雅子、西尾保子、桜井喜美江、則松久夫・美恵子、
則松康郎・葉子、上野豊・多佳子、則松文子、國生美南子、則松節男、則松和恵、

ご意見ご感想ご質問などお寄せください。

宛先； 特定非営利活動法人 野の花館

〒884-0002 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 2664

phone & fax ; 0983-23-0701

新年度が始まります。地域文化の拠点としてじっくり活動を続けていきたいと思っています。ご支援をよろしく願います。